

**（仮称）利府町震災復興計画の策定に関わる
アンケート調査結果
【②浜田・須賀地区住民アンケート】**

目 次

1. 浜田・須賀地区住民アンケート調査の概要	1
2. 調査結果の総括	3
3. 調査結果	6
<u>世帯主ご自身について</u>	
【設問 1.1】性別について	6
【設問 1.2】年齢について	6
【設問 2】震災前の主たる職業について	7
【設問 3】震災前の就労場所について	8
【設問 4】震災後の就労状況について	9
<u>住居の震災被害について</u>	
【設問 5】震災前の住居について	10
【設問 6】住居の浸水被害について	11
【設問 7】住居の被害状況について（り災証明書より）	11
【設問 8】被害を受けた住居の再建について	12
【設問 9】今後の居住意向について	13
【設問 10】転居したい理由について	16
<u>今後の地区の復興について</u>	
【設問 11】今後の地区の復興の取組みについて	17
<u>今後の利府町全体のまちづくりについて</u>	
【設問 12】今後の利府町全体のまちづくりを進めるにあたっての重要なことについて	22
<u>今後の利府町の復興についての意見（抜粋）</u>	26

1 浜田・須賀地区住民アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

震災における被災状況や再建及び復興まちづくりに関する意向を把握し、(仮称)利府町震災復興計画の策定の基礎資料とすることを目的とする。

【設問の設定に際しての着眼点】

設問の内容	着眼点
就労状況について	震災前後の就労状況を把握し、雇用機会の創出等に関する施策、事業を検討する基礎資料とする。
住居の震災被害について	住居の被害状況と被災住民の再建に対する意向や課題を把握し、居住環境に関する施策、事業を検討する基礎資料とする。
今後のまちづくりについて	復興のまちづくりを進めるにあたって、町民のニーズを把握し、施策、事業を検討する基礎資料とする。

(2) 実施期間

発送：平成23年8月10日(水) ～ 提出期限：平成23年8月22日(月)
回収期日：平成23年8月25日(木)

(3) 調査対象者

津波被害のあった浜田地区、須賀地区の全世帯
(浜田地区108世帯、須賀地区71世帯、計179世帯)

(4) 調査票の配布・回収方法

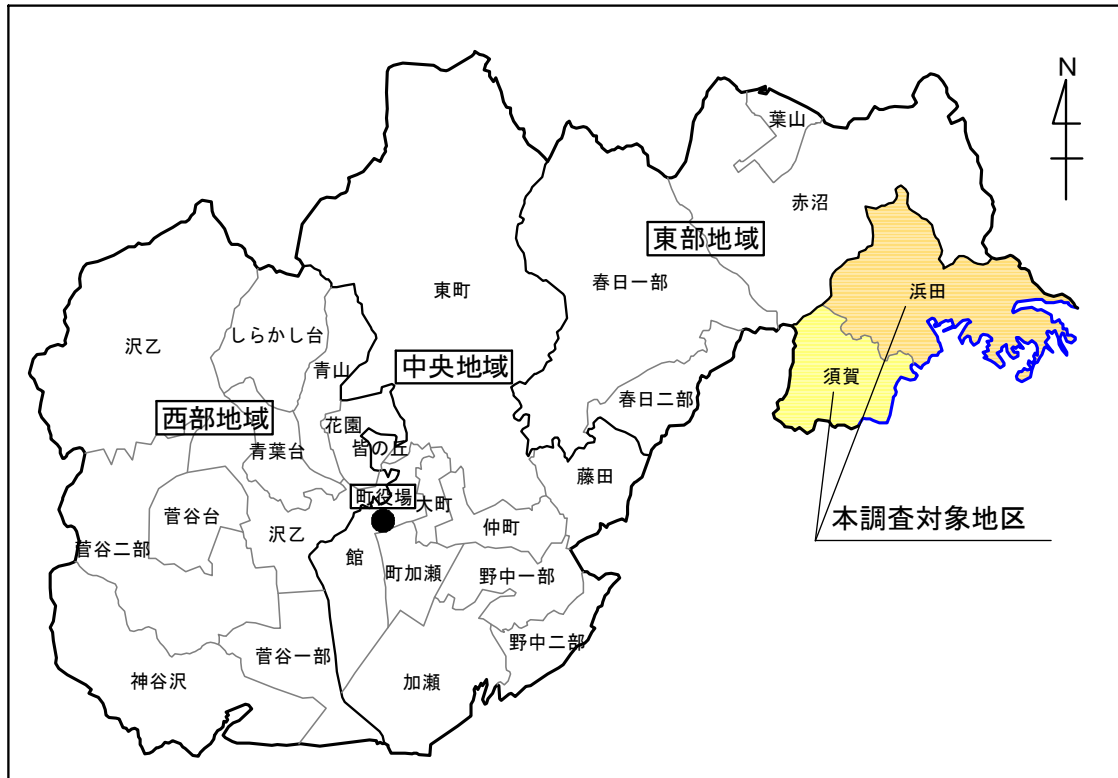
行政区長を通じて配布・回収

(5) 回収票数

地区区分	発送票数	回収票数	回収率
浜田地区	108	79	73%
須賀地区	71	55	77%
計	179	134	75%

【参考：地域地区区分図】

本アンケート調査における地区別の集計は、以下の地区区分で行っている。



■震災前後の就労状況

【浜田地区】

- ・回答者の年齢構成において60歳以上の回答者が多いことから、震災前における就労状況は「無職」が最も多くなっており、職業別では「パート・アルバイト」が多く、**就業者の割合は約4割**となっている。
- ・震災後の就労状況は、**今般の震災において就労状況の変更（休職、廃業）を余儀なくされた住民が就業者の1割以上存在**しており、**就労場所は浜田地区内と利府町外で半数**に区分される。

【須賀地区】

- ・回答者の年齢構成において60歳以上の回答者が多いことから、震災前における就労状況は「無職」が最も多くなっており、職業別では「漁業」が2割以上を占めて最も多く、**就業者の割合は約6割**となっている。
- ・震災後の就労状況は、**今般の震災において就労状況の変更（休職、廃業）を余儀なくされた住民が就業者の1割以上存在**しており、**就労場所は須賀地区内が約5割**となっている。

■住居の震災被害状況

【浜田地区】

- ・震災前の住居形態は、大半が一戸建ての持家となっており、震災による被害状況は、4割以上が流出、床上浸水、床下浸水の浸水被害を受けており、**約7割が全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊の建物被害**を受けている。

【須賀地区】

- ・震災前の住居形態は、大半が一戸建ての持家となっており、震災による被害状況は、約4割が床上浸水、床下浸水の浸水被害を受けており、**7割以上が大規模半壊、半壊、一部損壊の建物被害**を受けている。

■住居の再建の方法

【浜田地区】

- ・被災を受けた住居の再建方法は、「修繕」が最も多く、建替えや新築と併せて、**現在地での再建の割合が多**くなっている。

【須賀地区】

- ・被災を受けた住居の再建方法は、「修繕」が最も多く、建替えや新築と併せて、**現在地での再建の割合が多**くなっている。

■今後の居住意向

【浜田地区】

- ・今後の居住意向については、「震災前と同じ場所で、同じように住みたい」が5割以上と最も多く、「同じ場所で地盤を高くして住みたい」「自宅近くに住みたい」を含めた地区内での居住を望む意向が約7割となっている。
- ・また、「利府町内で、津波の来ない安全な場所に移りたい」との意向も見られ、「利府町外に転居したい」を含めて何らかの形で移転を望む意向は、1割以上を占めている。なお、町外移転希望者の理由は、「同じ被害を受けたくないため」などとなっている。

【須賀地区】

- ・今後の居住意向については、「震災前と同じ場所で、同じように住みたい」が約6割と最も多く、「同じ場所で地盤を高くして住みたい」を含めた地区内での居住を望む意向が7割以上となっており、漁業者においては約9割が希望している。
- ・また、「利府町内で、津波の来ない安全な場所に移りたい」との意向も見られ、「利府町外に転居したい」を含めて何らかの形で移転を望む意向は、1割以上を占めている。なお、町外移転希望者の理由は、「交通が不便であるため」などとなっている。

■今後の地区の復興の取組み

【浜田地区】

- ・浜田地区において今後の復興を進めていく上での取組みとしては、「防災施設・避難路・避難場所の整備」の割合が最も多く、次いで「防潮機能の強化（防潮堤、堤防道路など）」「水道、ガス等のライフラインの強化」などが求められている。なお、特に重要な項目においても同様の傾向であるが、「防潮機能の強化」が最重要課題で、次いで「防災施設・避難路・避難場所の整備」「盛土などによる地盤のかさ上げ」「水道・ガス等のライフラインの強化」となっている。

【須賀地区】

- ・須賀地区において今後の復興を進めていく上での取組みとしては、「防災施設・避難路・避難場所の整備」の割合が最も多く、次いで「防潮機能の強化（防潮堤、堤防道路など）」「盛土などによる地盤のかさ上げ」などが求められている。なお、特に重要な項目においても同様の傾向であり、「防災施設・避難路・避難場所の整備」が最重要課題となっている。

■今後の利府町全体のまちづくり

【浜田地区】

- ・今後の利府町全体のまちづくりを進めていく上で重要なことは、「災害に強いまちづくり」や「高齢者支援」「防災機能を持った拠点施設整備」となっており、**防災機能や災害支援等の強化・整備**が望まれている。

【須賀地区】

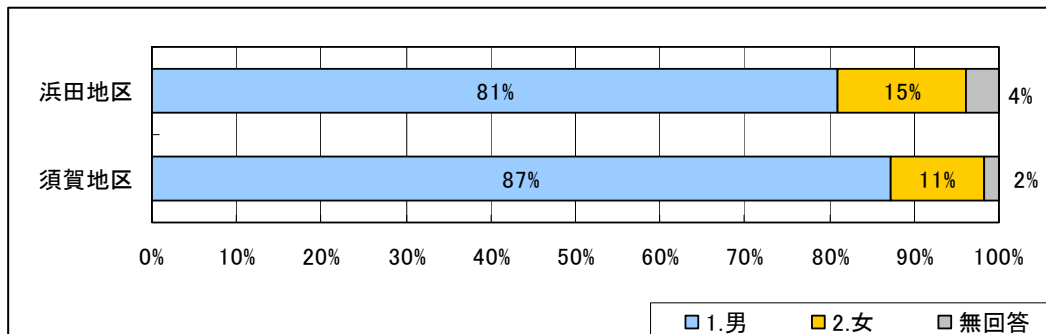
- ・今後の利府町全体のまちづくりを進めていく上で重要なことは、「災害に強いまちづくり」や「高齢者支援」「道路網の整備充実」となっており、**防災機能や災害支援等の強化・整備**が望まれている。

世帯主ご自身について

【設問 1. 1】性別について

- ・浜田地区における回答者の性別は、「男性」が81%、「女性」が15%となっている。
- ・須賀地区における回答者の性別は、「男性」が87%、「女性」が11%となっている。

《全体集計》



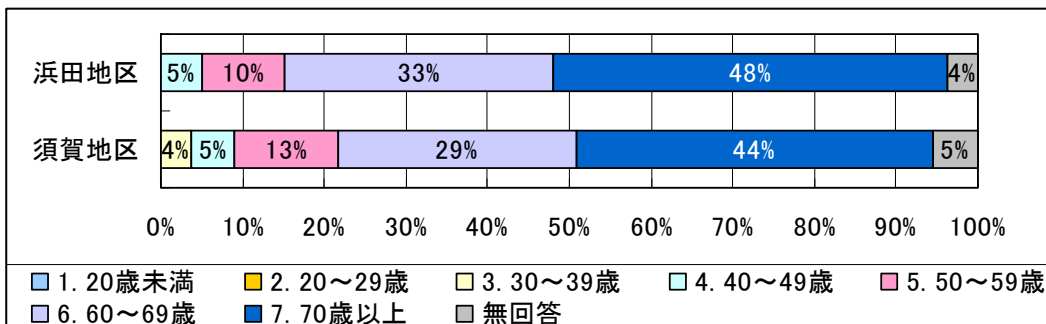
(人数)

	1.男	2.女	無回答	計
浜田地区	64	12	3	79
須賀地区	48	6	1	55

【設問 1. 2】年齢について

- ・浜田地区の年齢構成は、「70歳以上」が48%と最も多く、次いで「60～69歳」が33%となっている。
- ・須賀地区の年齢構成は、「70歳以上」が44%と最も多く、次いで「60～69歳」が29%となっている。

《全体集計》



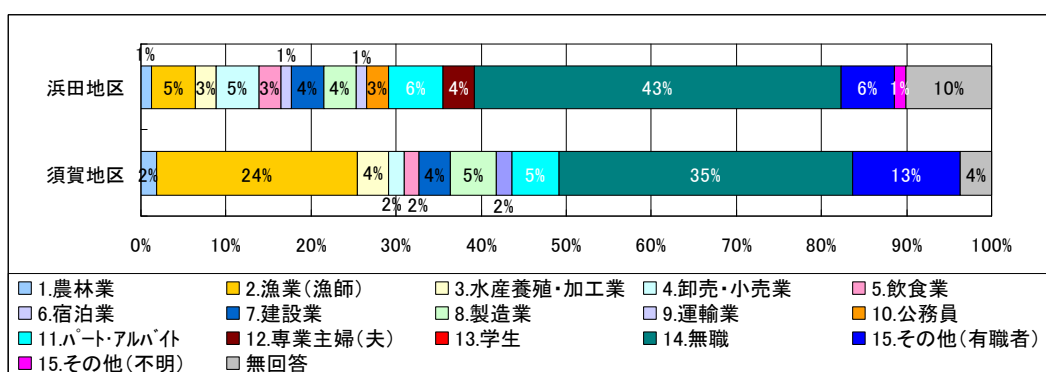
(人数)

	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	無回答	計
浜田地区	0	0	0	4	8	26	38	3	79
須賀地区	0	0	2	3	7	16	24	3	55

【設問2】震災前の主たる職業について

- ・浜田地区の震災前の主たる職業は、「無職」が43%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が6%となっている。
- ・浜田地区の就業者の割合は、「1. 農林業～11. パート・アルバイト」と「その他（有職者）」を合わせて42%となっている。
- ・須賀地区の震災前の主たる職業は、「無職」が35%と最も多く、次いで「漁業（漁師）」が24%となっている。
- ・須賀地区の就業者の割合は、「1. 農林業～11. パート・アルバイト」と「その他（有職者）」を合わせて63%となっている。

《全体集計》



	1.農林業	2.漁業(漁師)	3.水産養殖・加工業	4.卸売・小売業	5.飲食業	6.宿泊業	7.建設業	8.製造業					(人数)
浜田地区	1	4	2	4	2	1	3	3					
須賀地区	1	13	2	1	1	0	2	3					
	9.運輸業	10.公務員	11.パート・アルバイト	12.専業主婦(夫)	13.学生	14.無職	15.その他(有職者)	15.その他(不明)	無回答	計			
浜田地区	1	2	5	3	0	34	5	1	8	79			
須賀地区	1	0	3	0	0	19	7	0	2	55			

▽浜田地区「15. その他」の回答内容（回答：5件、不明：1件）

- ・サービス業：3件
 - ・船舶メンテナンス：1件
 - ・会社員：1件
 - ・不明：1件
- } その他（有職者）：5件

▽須賀地区「15. その他」の回答内容（回答：7件）

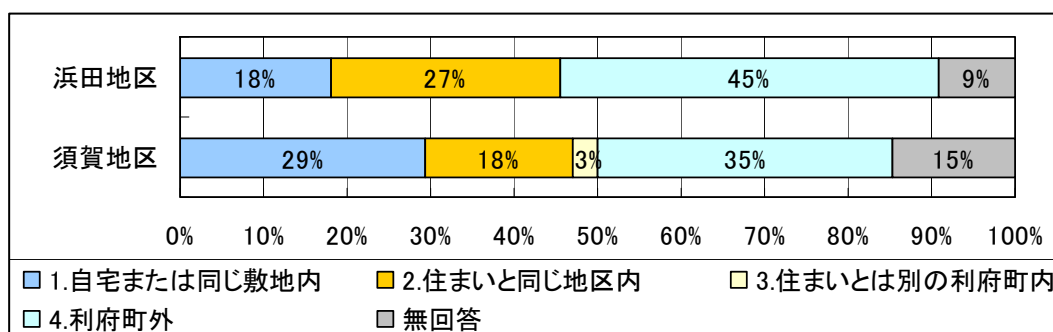
- ・会社員：4件
 - ・システム開発：1件
 - ・組立工：1件
 - ・臨時雇用：1件
- } その他（有職者）：7件

【設問3】震災前の就労場所について

* 設問2で、「1. 農林業～11. パート・アルバイトと 15. その他（有職者）」と回答した方を対象

- ・ 浜田地区の震災後の就労場所は、「同じ地区内で働いている方（自宅または同じ敷地内及び住まいと同じ地区内）」が45%となっており、「利府町外」は45%となっている。
- ・ 須賀地区の震災後の就労場所は、「同じ地区内で働いている方（自宅または同じ敷地内及び住まいと同じ地区内）」が47%となっており、「利府町外」は35%となっている。

《全体集計》



(人数)

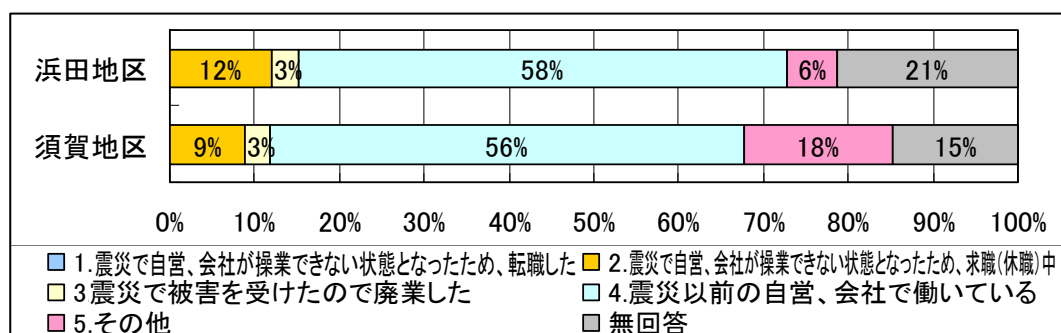
	1.自宅または同じ敷地内	2.住まいと同じ地区内	3.住まいとは別の利府町内	4.利府町外	無回答	計
浜田地区	6	9	0	15	3	33
須賀地区	10	6	1	12	5	34

【設問4】震災後の就労状況について

* 設問2で、「1. 農林業～11. パート・アルバイトと 15. その他（有職者）」と回答した方を対象

- ・ 浜田地区の震災後の就労状況は、「震災以前の自営、会社で働いている」が58%で、震災の影響により「求職(休職)中」、「廃業した」は、合わせて15%となっている。
- ・ 須賀地区の震災後の就労状況は、「震災以前の自営、会社で働いている」が56%で、震災の影響により「求職(休職)中」、「廃業した」は、合わせて12%となっている。

《全体集計》



(人数)

	1. 震災で自営、会社が操業できない状態となったため、転職した	2. 震災で自営、会社が操業できない状態となったため、求職(休職)中	3. 震災で被害を受けたので廃業した	4. 震災以前の自営、会社で働いている	5. その他	無回答	計
浜田地区	0	4	1	19	2	7	33
須賀地区	0	3	1	19	6	5	34

▽浜田地区「5. その他」の回答内容（回答：1件、不明：1件）

- ・ 災害で船外機が壊れたため、休業中：1件

▽須賀地区「5. その他」の回答内容（回答：3件、不明：3件）

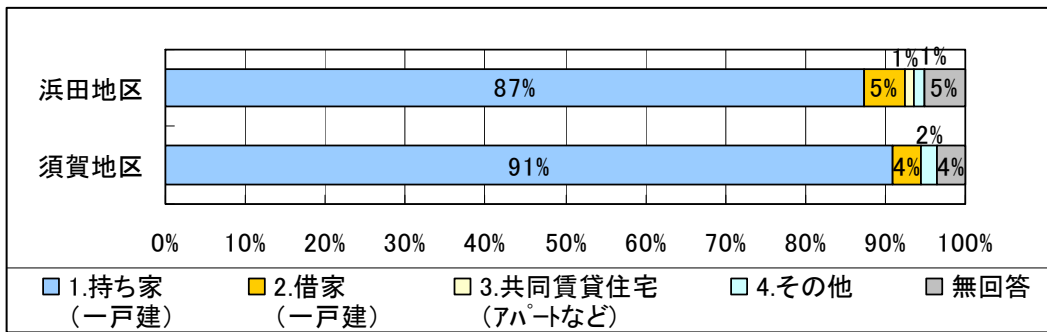
- ・ 今は、コンブ、ワカメ養殖の準備中：1件
- ・ 9月末まで、がれき処理作業：1件
- ・ 無職：1件

住居の震災被害について

【設問5】震災前の住居について

- ・浜田地区の震災前の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が87%と最も多くなっている。
- ・須賀地区の震災前の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が91%と最も多くなっている。

《全体集計》



(人数)

	1. 持ち家 (一戸建)	2. 借家 (一戸建)	3. 共同賃貸住宅 (アパートなど)	4. その他	無回答	計
浜田地区	69	4	1	1	4	79
須賀地区	50	2	0	1	2	55

▽浜田地区「4. その他」の回答内容

- ・土地は借地：1

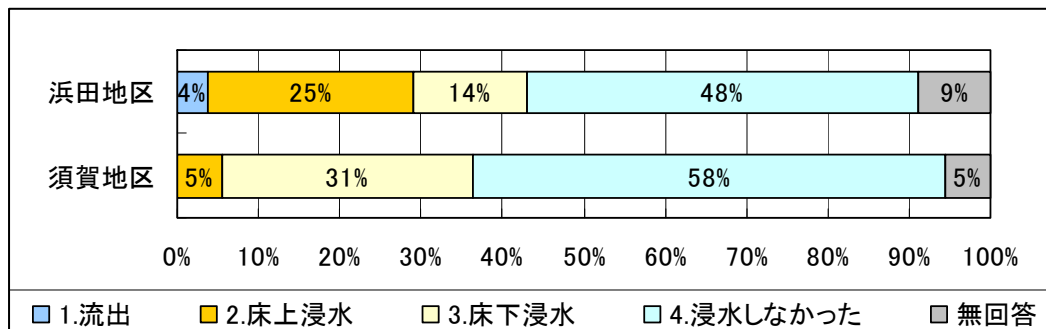
▽須賀地区「4. その他」の回答内容

- ・住宅兼店舗：1

【設問6】住居の浸水被害について

- ・浜田地区の住居の「浸水被害（流出、床上浸水、床下浸水）」は 43%（34 件）、「浸水しなかった」は 48%となっている。
- ・須賀地区の住居の「浸水被害（床上浸水、床下浸水）」は 36%（20 件）、「浸水しなかった」は 58%となっている。

《全体集計》



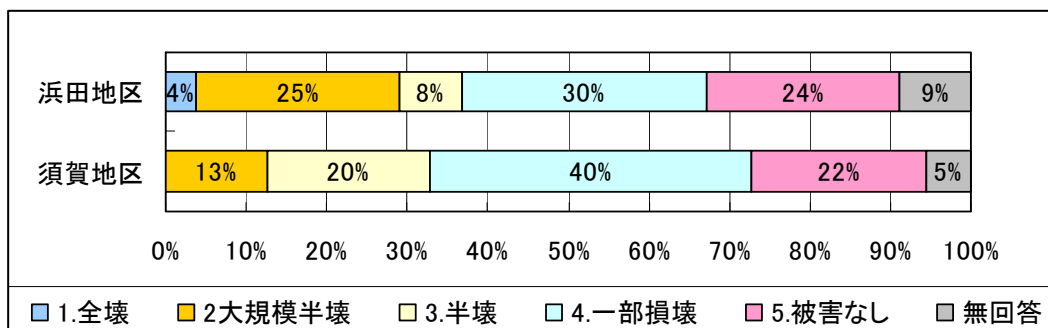
(人数)

	1.流出	2.床上浸水	3.床下浸水	4.浸水しなかった	無回答	計
浜田地区	3	20	11	38	7	79
須賀地区	0	3	17	32	3	55

【設問7】住居の被害状況について（り災証明書より）

- ・浜田地区の住居の被害状況は、「一部損壊」が 30%と最も多く、次いで「大規模半壊」が 25%となっており、全壊を含めて何らかの被害を受けた住居は 67%（53 件）となっている。
- ・須賀地区の住居の被害状況は、「一部損壊」が 40%と最も多く、次いで「半壊」が 20%となっており、大規模半壊を含めて何らかの被害を受けた住居は 73%（40 件）となっている。

《全体集計》



(人数)

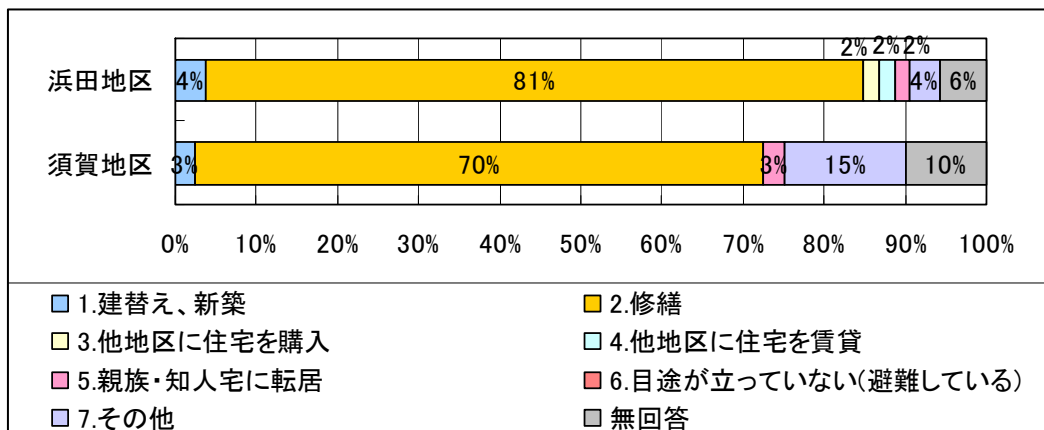
	1.全壊	2.大規模半壊	3.半壊	4.一部損壊	5.被害なし	無回答	計
浜田地区	3	20	6	24	19	7	79
須賀地区	0	7	11	22	12	3	55

【設問8】被害を受けた住居の再建について

* 設問7で、「1.全壊～4.一部損壊」と回答された方を対象

- ・ 浜田地区の被害を受けた住居の再建は、「修繕」が81%と最も多くなっている。
- ・ 須賀地区の被害を受けた住居の再建は、「修繕」が70%と最も多くなっている。

《全体集計》



(人数)

	1. 建替え、新築	2. 修繕	3. 他地区に住宅を購入	4. 他地区に住宅を賃貸	5. 親族・知人宅に転居	6. 目的が立っていない(避難している)	7. その他	無回答	計
浜田地区	2	43	1	1	1	0	2	3	53
須賀地区	1	28	0	0	1	0	6	4	40

▽浜田地区「7.その他」の回答内容（回答：1件、不明：1件）

- ・ 解体してはなれ宅へ移動：1件

▽須賀地区「7.その他」の回答内容（回答：4件、不明：2件）

- ・ そのままの状態にしている：1件
- ・ 直すほどではない：1件
- ・ 家の前が傾いた：1件
- ・ 考え中：1件

【設問9】今後の居住意向について

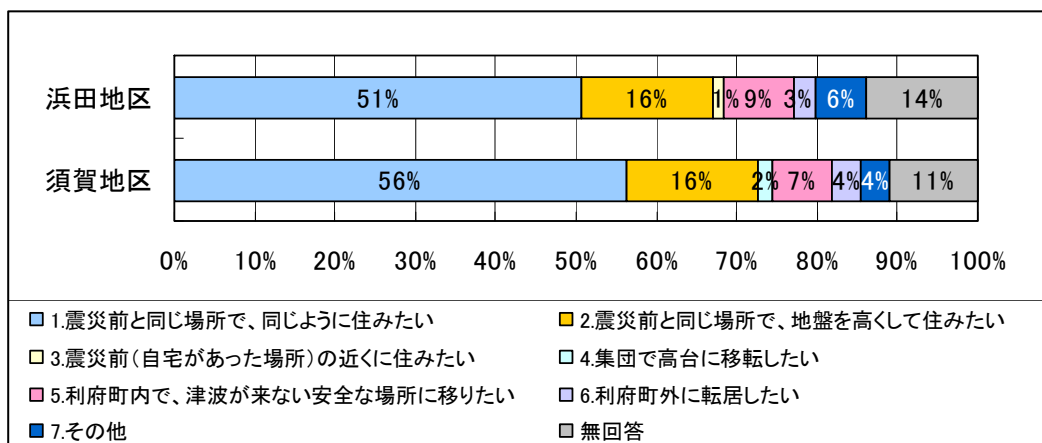
【浜田地区】

- ・今後の居住意向は、「震災前と同じ場所で、同じように住みたい」が51%と最も多く、次いで「震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい」が16%となっている。
- ・「震災前と同じ場所で同じように住みたい」及び「震災前と同じ場所で地盤を高くして住みたい」の現在地での再建意向は、年齢別では60歳代が最も多く、職業別では漁業者が最も多くなっている。

【須賀地区】

- ・今後の居住意向は、「震災前と同じ場所で、同じように住みたい」が56%と最も多く、次いで「震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい」が16%となっている。
- ・現在地での再建意向は、「震災前と同じ場所で同じように住みたい」及び「震災前と同じ場所で地盤を高くして住みたい」が、年齢別では50歳代以外で多く、職業別では漁業者が最も多くなっている。

《全体集計》



(人数)

	1.震災前と同じ場所で、同じように住みたい	2.震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい	3.震災前(自宅があった場所)の近くに住みたい	4.集団で高台に移転したい	5.利府町内で、津波が来ない安全な場所に移りたい	6.利府町外に転居したい	7.その他	無回答	計
浜田地区	40	13	1	0	7	2	5	11	79
須賀地区	31	9	0	1	4	2	2	6	55

▽浜田地区「7.その他」の回答内容(回答:3件、不明:2件)

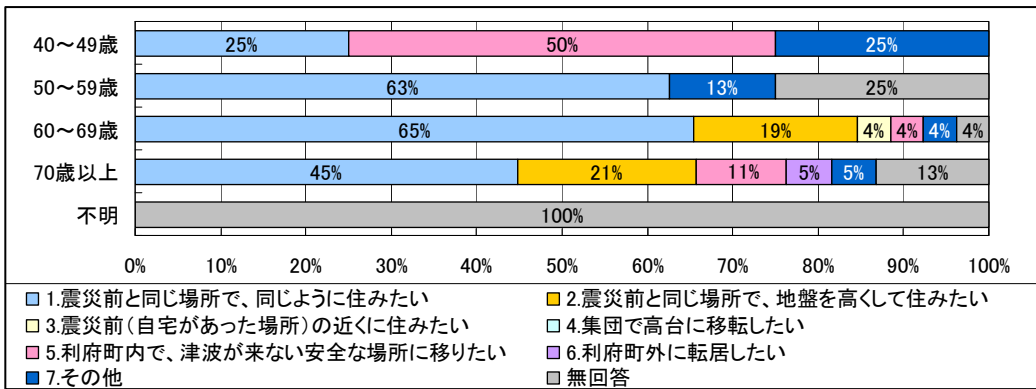
- ・現在の居住地に住みたい:1件
- ・地区に拘らず安全な場所に住みたい:1件
- ・補強しながらも現在の場所に住みたい:1件

▽須賀地区「7.その他」の回答内容(回答:1件、不明:1件)

- ・土砂災害の危険の無いところに住みたい:1件

《年齢別集計（年齢と今後の居留意向の関係）》

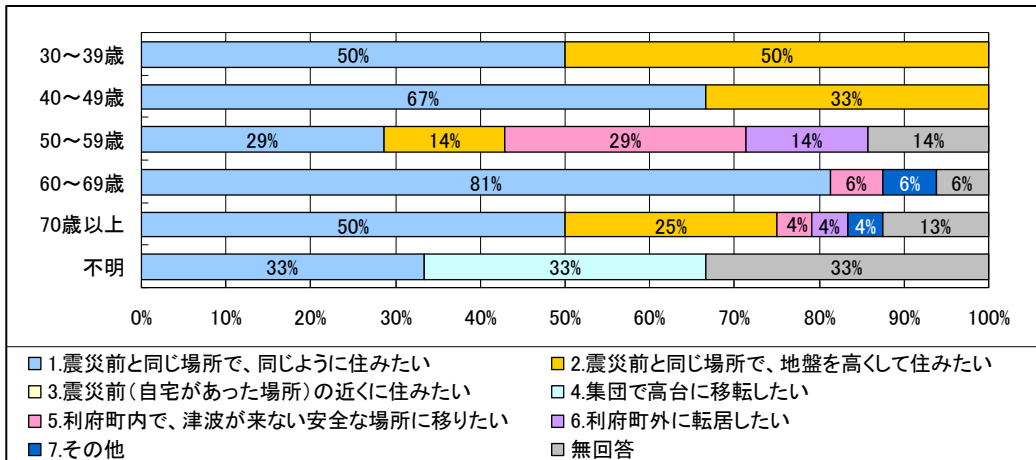
【浜田地区】



(人数)

	1.震災前と同じ場所で、同じように住みたい	2.震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい	3.震災前(自宅があった場所)の近くに住みたい	4.集団で高台に移転したい	5.利府町内で、津波が来ない安全な場所に移りたい	6.利府町外に移転したい	7.その他	無回答	計
40～49歳	1	0	0	0	2	0	1	0	4
50～59歳	5	0	0	0	0	0	1	2	8
60～69歳	17	5	1	0	1	0	1	1	26
70歳以上	17	8	0	0	4	2	2	5	38
不明	0	0	0	0	0	0	0	3	3
計	40	13	1	0	7	2	5	11	79

【須賀地区】



(人数)

	1.震災前と同じ場所で、同じように住みたい	2.震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい	3.震災前(自宅があった場所)の近くに住みたい	4.集団で高台に移転したい	5.利府町内で、津波が来ない安全な場所に移りたい	6.利府町外に移転したい	7.その他	無回答	計
30～39歳	1	1	0	0	0	0	0	0	2
40～49歳	2	1	0	0	0	0	0	0	3
50～59歳	2	1	0	0	2	1	0	1	7
60～69歳	13	0	0	0	1	0	1	1	16
70歳以上	12	6	0	0	1	1	1	3	24
不明	1	0	0	1	0	0	0	1	3
計	31	9	0	1	4	2	2	6	55

《職業別集計（職業と今後の居住意向の関係）》

*職業については、設問2の選択項目を下記の4区分で集計を行った

漁業者：2. 漁業（漁師） 3. 水産養殖・加工業

有職：1. 農林業 4. 卸売・小売業 5. 飲食業 6. 宿泊業 7. 建設業

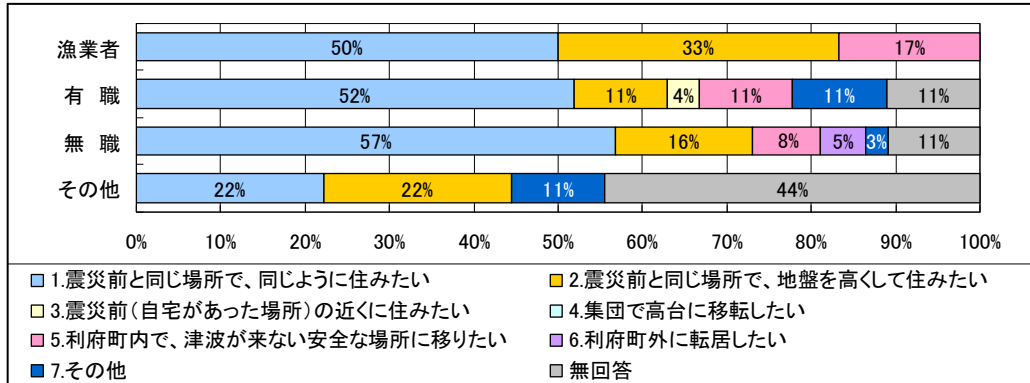
8. 製造業 9. 運輸業 10. 公務員 11. パート・アルバイト

15. その他（有職者）

無職：12. 専業主婦（夫） 13. 学生 14. 無職

その他：15. その他（不明） 無回答

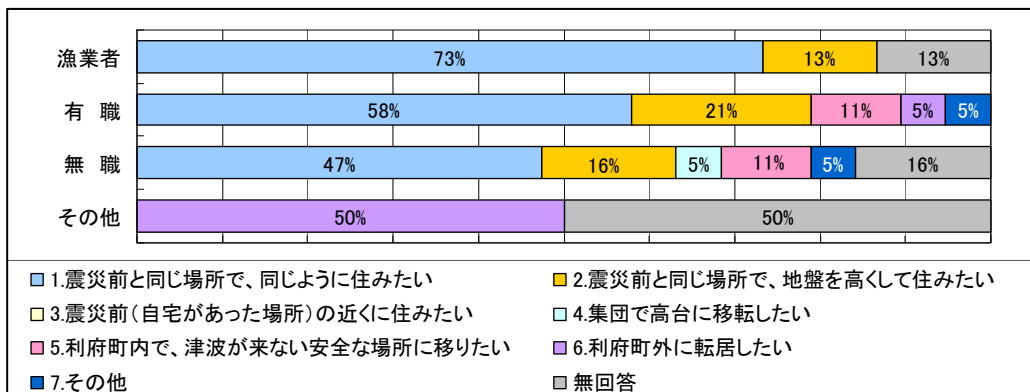
【浜田地区】



(人数)

	1. 震災前と同じ場所で、同じように住みたい	2. 震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい	3. 震災前（自宅があった場所）の近くに住みたい	4. 集団で高台に移転したい	5. 利府町内で、津波が来ない安全な場所に移りたい	6. 利府町外に転居したい	7. その他	無回答	計
漁業者	3	2	0	0	1	0	0	0	6
有職	14	3	1	0	3	0	3	3	27
無職	21	6	0	0	3	2	1	4	37
その他	2	2	0	0	0	0	1	4	9
計	40	13	1	0	7	2	5	11	79

【須賀地区】



(人数)

	1. 震災前と同じ場所で、同じように住みたい	2. 震災前と同じ場所で、地盤を高くして住みたい	3. 震災前（自宅があった場所）の近くに住みたい	4. 集団で高台に移転したい	5. 利府町内で、津波が来ない安全な場所に移りたい	6. 利府町外に転居したい	7. その他	無回答	計
漁業者	11	2	0	0	0	0	0	2	15
有職	11	4	0	0	2	1	1	0	19
無職	9	3	0	1	2	0	1	3	19
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	2
計	31	9	0	1	4	2	2	6	55

【設問 10】 転居したい理由について （当てはまるもの全てに○）

* 設問 9 で、「6. 利府町外に転居したい」と回答された方を対象

- ・ 浜田地区の転居したい方は 2 人で、理由は「他の市町に両親、子供、親戚がいるため」及び「同じ被害を受けたくないため」となっている。
- ・ 須賀地区の転居したい方は 2 人で、理由は「交通が不便であるため」及び「同じ被害を受けたくないため」となっている。

《全体集計》

(回答数)

	1. 他の市町 に両親、子 供、親戚が いるため	2. 仕事先に 近い方が よいため	3. 交通が不 便である ため	4. 買い物が 不便であ るため	5. 子供の通 学のため	6. 同じ被害 を受けたく ないため	7. その他	計
浜田地区	1	0	0	0	0	1	0	2
須賀地区	0	0	1	0	0	1	0	2

今後の地区の復興について

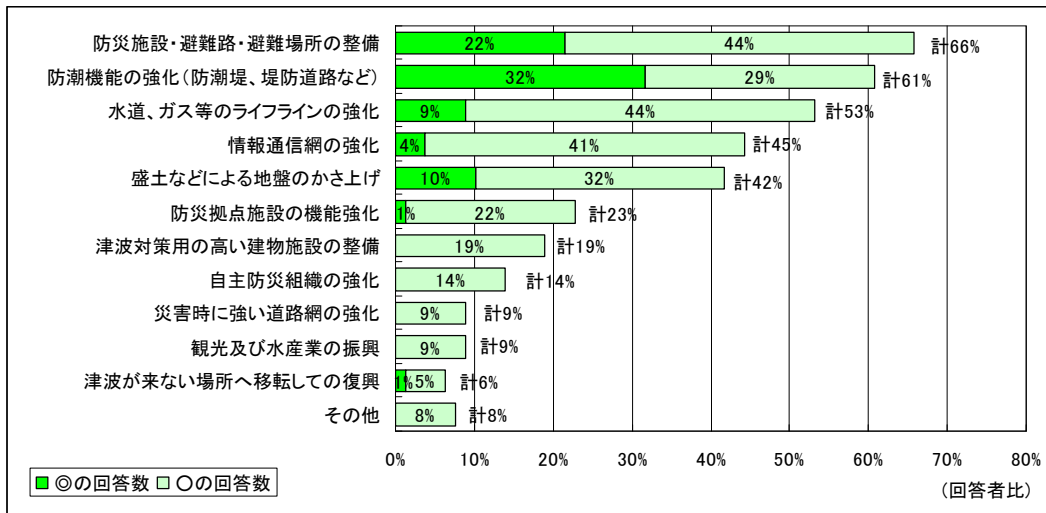
【設問 1 1】 今後の地区の復興の取組みについて

(4つまで○：○3つと最も重要は◎1つを選択)

【浜田地区】

- ・浜田地区における今後の復興の取組みとして必要なことは、「防災施設・避難路・避難場所の整備」が66%と最も多く、次いで「防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)」が61%、「水道、ガス等のライフラインの強化」が53%となっている。
- ・最重度が最も高い項目としては、「防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)」が最も多く、次いで「防災施設・避難路・避難場所の整備」となっている。
- ・住居の被害状況別を見ると、浸水の被害が大きく家屋が全壊及び大規模半壊した被害者は、「防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)」の割合が最も多く、半壊、一部損壊及び非被害者は、「防災施設・避難路・避難場所の整備」の割合が最も多くなっている。

《浜田地区の全体集計》



選択項目	◎の回答数	○の回答数	計	回答者比 (79人)
防災施設・避難路・避難場所の整備	17	35	52	66%
防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)	25	23	48	61%
水道、ガス等のライフラインの強化	7	35	42	53%
情報通信網の強化	3	32	35	45%
盛土などによる地盤のかさ上げ	8	25	33	42%
防災拠点施設の機能強化	1	17	18	23%
津波対策用の高い建物施設の整備	0	15	15	19%
自主防災組織の強化	0	11	11	14%
災害時に強い道路網の強化	0	7	7	9%
観光及び水産業の振興	0	7	7	9%
津波が来ない場所へ移転しての復興	1	4	5	6%
その他	0	6	6	8%
計	62	217	279	-

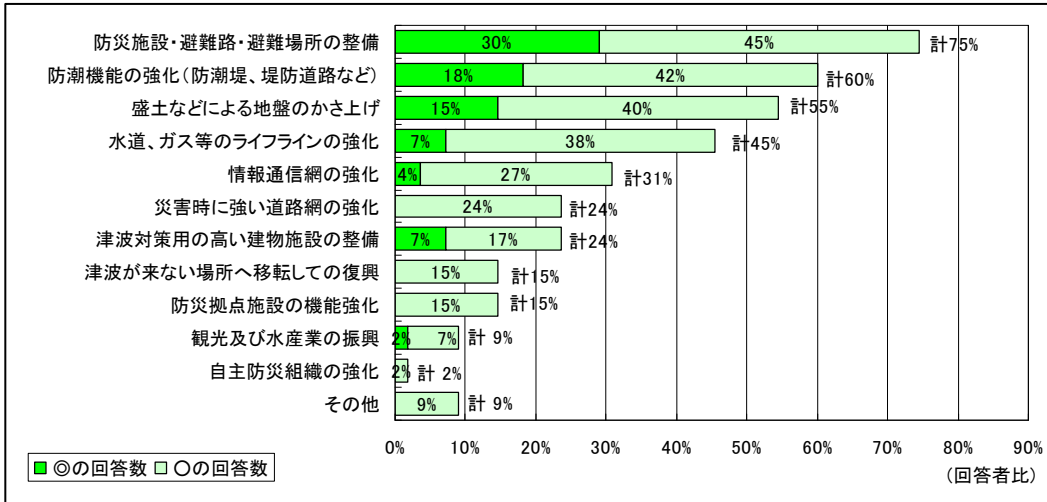
▽「その他」の回答内容（回答：3件、不明：3件）

- ・ 緊急な浜田岸壁の嵩上げ：1件
- ・ 出来る事から速やかに行動する：1件
- ・ 小さい避難所にも早く確認等が出来る連絡計画の改善：1件

【須賀地区】

- ・須賀地区における今後の復興の取組みとして必要なことは、「防災施設・避難路・避難場所の整備」が75%と最も多く、次いで「防潮機能の強化（防潮堤、堤防道路など）」が60%、「盛土などによる地盤のかさ上げ」が55%となっており、最重度が高い項目についても同様である。
- ・住居の被害状況別を見ると、被害が大きい大規模半壊被害者は「防潮機能の強化（防潮堤、堤防道路など）」、半壊被害者は「盛土などによる地盤のかさ上げ」、一部損壊及び非被害者は「防災施設・避難路・避難場所の整備」の割合が最も多くなっている。

《須賀地区の全体集計》

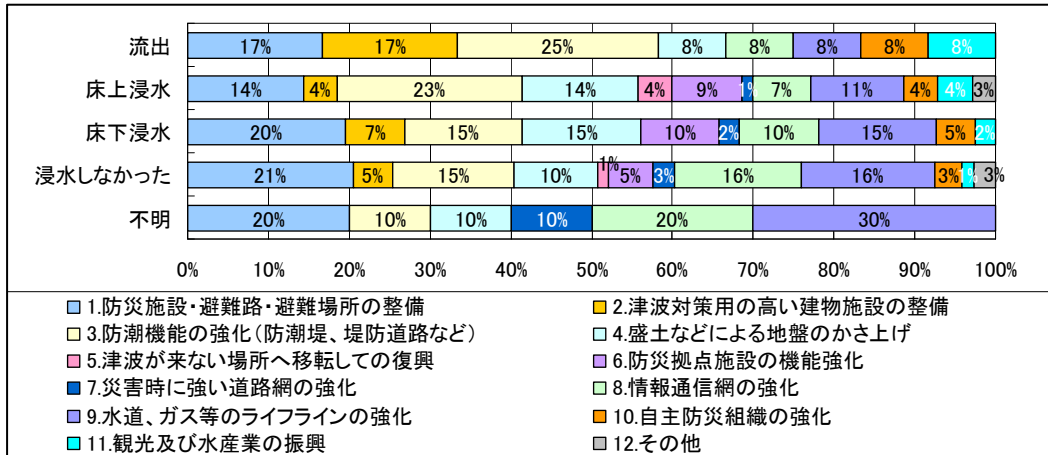


▽「その他」の回答内容（回答：5件）

- ・高台の集会所と更に高台へ行ける道路の整備：1件
- ・ガス、水道の保全：1件 ・沈下対策：1件
- ・この項目は、全て須賀・浜田地区に値する：1件
- ・今回、1班は給水やその他の事で何時も取り扱って貰えず残念でした。：1件

《住居の浸水被害別集計（住居の浸水被害と地区復興の取り組みの関係）》

【浜田地区】

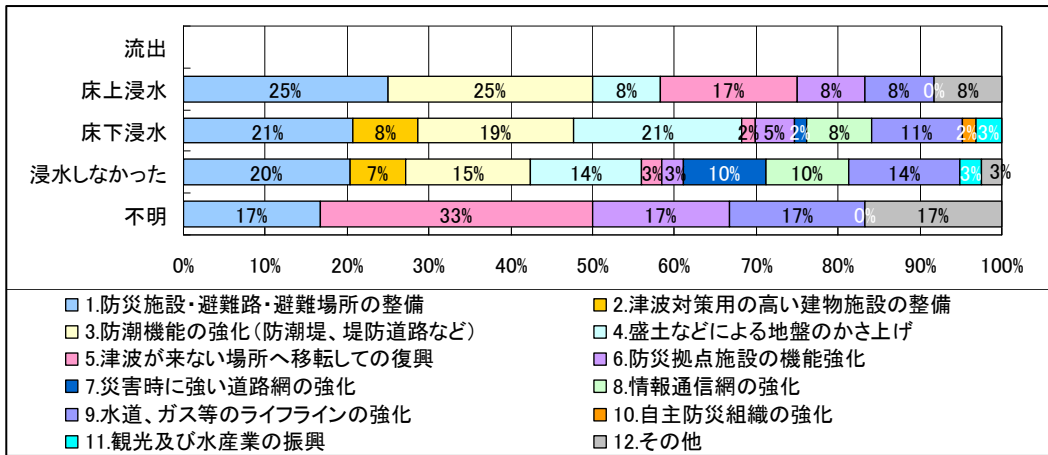


「◎+○の集計」

(回答数)

	1. 防災施設・避難路・避難場所の整備	2. 津波対策用の高い建物施設の整備	3. 防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)	4. 盛土などによる地盤のかさ上げ	5. 津波が来ない場所へ移転しての復興	6. 防災拠点施設の機能強化	7. 災害時に強い道路網の強化	8. 情報通信網の強化	9. 水道、ガス等のライフラインの強化	10. 自主防災組織の強化	11. 観光及び水産業の振興	12. その他	計
流出	2	2	3	1	0	0	0	1	1	1	1	0	12
床上浸水	10	3	16	10	3	6	1	5	8	3	3	2	70
床下浸水	8	3	6	6	0	4	1	4	6	2	1	0	41
浸水しなかった	30	7	22	15	2	8	4	23	24	5	2	4	146
不明	2	0	1	1	0	0	1	2	3	0	0	0	10
計	52	15	48	33	5	18	7	35	42	11	7	6	279

【須賀地区】



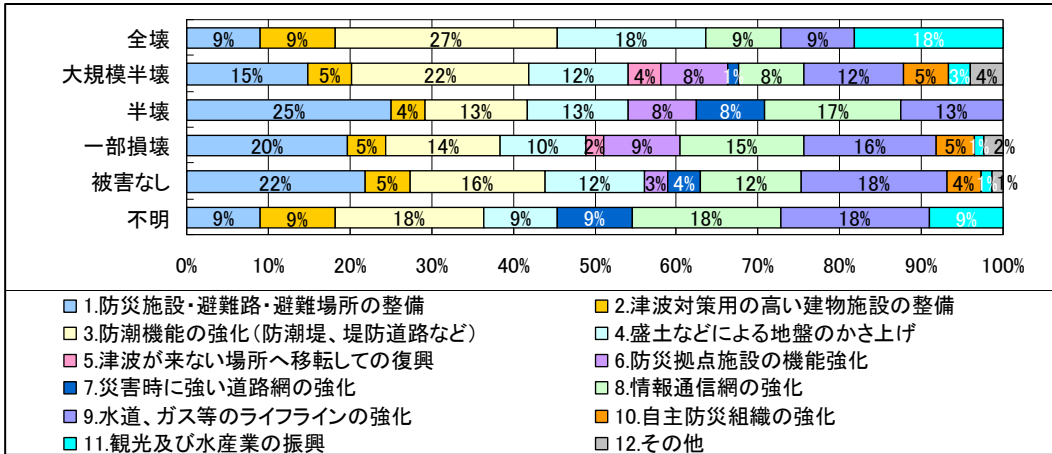
「◎+○の集計」

(回答数)

	1. 防災施設・避難路・避難場所の整備	2. 津波対策用の高い建物施設の整備	3. 防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)	4. 盛土などによる地盤のかさ上げ	5. 津波が来ない場所へ移転しての復興	6. 防災拠点施設の機能強化	7. 災害時に強い道路網の強化	8. 情報通信網の強化	9. 水道、ガス等のライフラインの強化	10. 自主防災組織の強化	11. 観光及び水産業の振興	12. その他	計
流出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
床上浸水	3	0	3	1	2	1	0	0	1	0	0	1	12
床下浸水	13	5	12	13	1	3	1	5	7	1	2	0	63
浸水しなかった	24	8	18	16	3	3	12	12	16	0	3	3	118
不明	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	6
計	41	13	33	30	8	8	13	17	25	1	5	5	199

《住居の被害状況別集計（住居の被害状況と地区復興の取り組みの関係）》

【浜田地区】

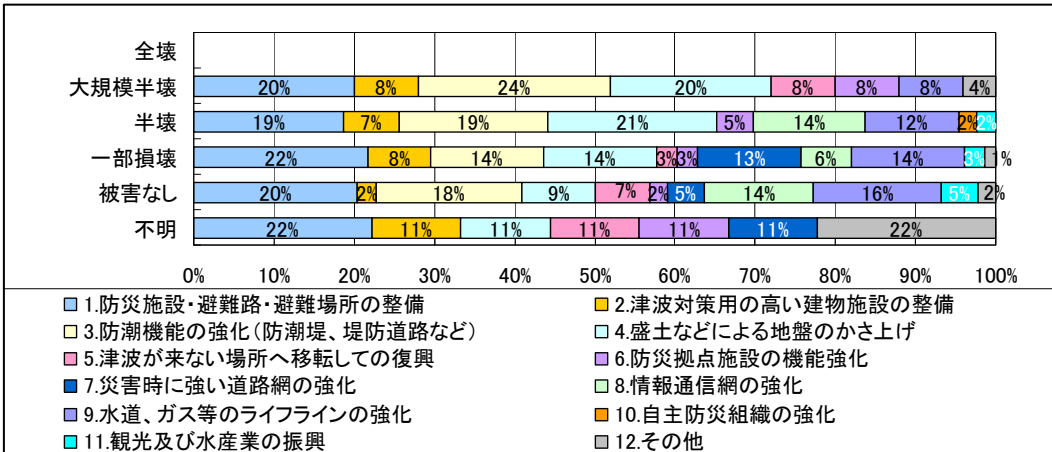


「◎+○の集計」

(回答数)

	1. 防災施設・避難路・避難場所の整備	2. 津波対策用の高い建物施設の整備	3. 防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)	4. 盛土などによる地盤のかさ上げ	5. 津波が来ない場所へ移転しての復興	6. 防災拠点施設の機能強化	7. 災害時に強い道路網の強化	8. 情報通信網の強化	9. 水道、ガス等のライフラインの強化	10. 自主防災組織の強化	11. 観光及び水産業の振興	12. その他	計
全壊	1	1	3	2	0	0	0	1	1	0	2	0	11
大規模半壊	11	4	16	9	3	6	1	6	9	4	2	3	74
半壊	6	1	3	3	0	2	2	4	3	0	0	0	24
一部損壊	17	4	12	9	2	8	0	13	14	4	1	2	86
被害なし	16	4	12	9	0	2	3	9	13	3	1	1	73
不明	1	1	2	1	0	0	1	2	2	0	1	0	11
計	52	15	48	33	5	18	7	35	42	11	7	6	279

【須賀地区】



「◎+○の集計」

(回答数)

	1. 防災施設・避難路・避難場所の整備	2. 津波対策用の高い建物施設の整備	3. 防潮機能の強化(防潮堤、堤防道路など)	4. 盛土などによる地盤のかさ上げ	5. 津波が来ない場所へ移転しての復興	6. 防災拠点施設の機能強化	7. 災害時に強い道路網の強化	8. 情報通信網の強化	9. 水道、ガス等のライフラインの強化	10. 自主防災組織の強化	11. 観光及び水産業の振興	12. その他	計
全壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模半壊	5	2	6	5	2	2	0	0	2	0	0	1	25
半壊	8	3	8	9	0	2	0	6	5	1	1	0	43
一部損壊	17	6	11	11	2	2	10	5	11	0	2	1	78
被害なし	9	1	8	4	3	1	2	6	7	0	2	1	44
不明	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	9
計	41	13	33	30	8	8	13	17	25	1	5	5	199

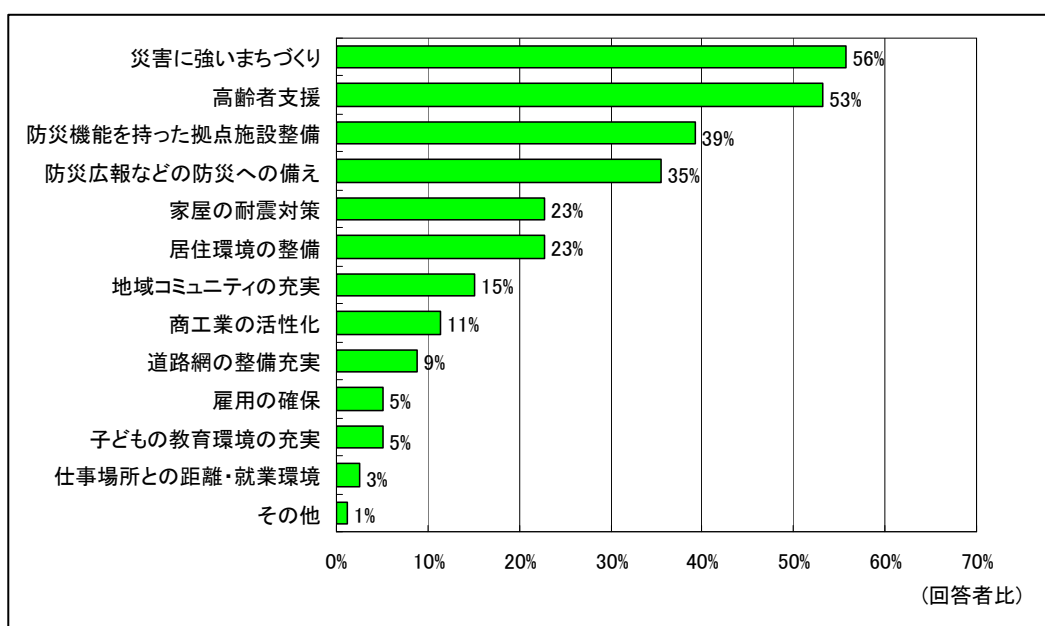
今後の利府町全体のまちづくりについて

【設問 1 2】 今後の利府町全体のまちづくりを進めるにあたっての重要なことについて (当てはまるもの3つに○)

【浜田地区】

- ・今後の利府町全体のまちづくりを進めるにあたって重要なことは、「災害に強いまちづくり」が 56%と最も多く、次いで「高齢者支援」が 53%、「防災機能を持った拠点施設整備」が 39%となっている。
- ・住居の被害状況別を見ると、全体と概ね同様の傾向となっているが、大規模半壊及び一部損壊被害者は「高齢者支援」の割合が多く、半壊被害者においては「防災機能を持った拠点施設整備」の割合が最も多くなっている。

《浜田地区の全体集計》



選択項目	回答数	回答者比 (79人)
災害に強いまちづくり	44	56%
高齢者支援	42	53%
防災機能を持った拠点施設整備	31	39%
防災広報などの防災への備え	28	35%
家屋の耐震対策	18	23%
居住環境の整備	18	23%
地域コミュニティの充実	12	15%
商工業の活性化	9	11%
道路網の整備充実	7	9%
雇用の確保	4	5%
子どもの教育環境の充実	4	5%
仕事場所との距離・就業環境	2	3%
その他	1	1%
計	220	-

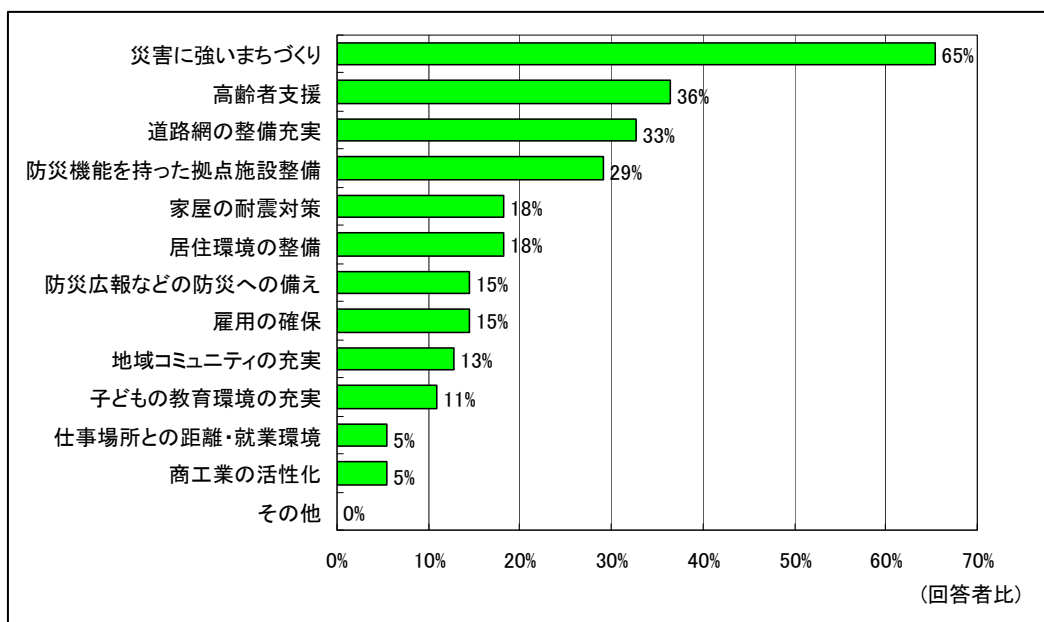
▽浜田地区「その他」の回答内容

- ・町当局の考え方による浜田港の方向性により、復興の仕方が変わる : 1 件

【須賀地区】

- ・今後の利府町全体のまちづくりを進めるにあたって重要なことは、「災害に強いまちづくりが」が65%と最も多く、次いで「高齢者支援」が36%、「道路網の充実」が33%となっている。
- ・住居の被害状況別を見ると、全体と概ね同様の傾向となっているが、大規模半壊被害者においては「高齢者支援」の割合が多くなっている。

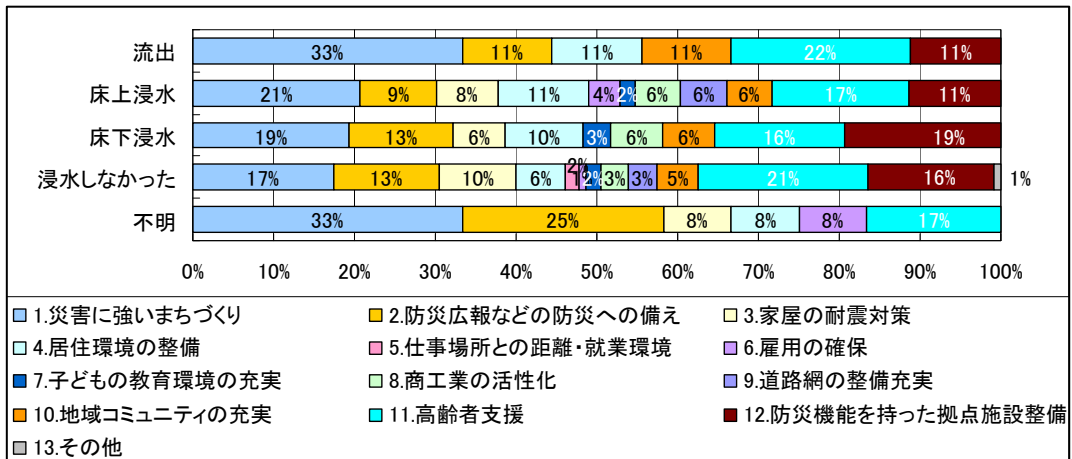
《須賀地区の全体集計》



選択項目	回答数	回答者比 (55人)
災害に強いまちづくり	36	65%
高齢者支援	20	36%
道路網の整備充実	18	33%
防災機能を持った拠点施設整備	16	29%
家屋の耐震対策	10	18%
居住環境の整備	10	18%
防災広報などの防災への備え	8	15%
雇用の確保	8	15%
地域コミュニティの充実	7	13%
子どもの教育環境の充実	6	11%
仕事場所との距離・就業環境	3	5%
商工業の活性化	3	5%
その他	0	0%
計	145	-

《住居の浸水被害別集計（住居の浸水被害と今後の利府町全体のまちづくりの関係）》

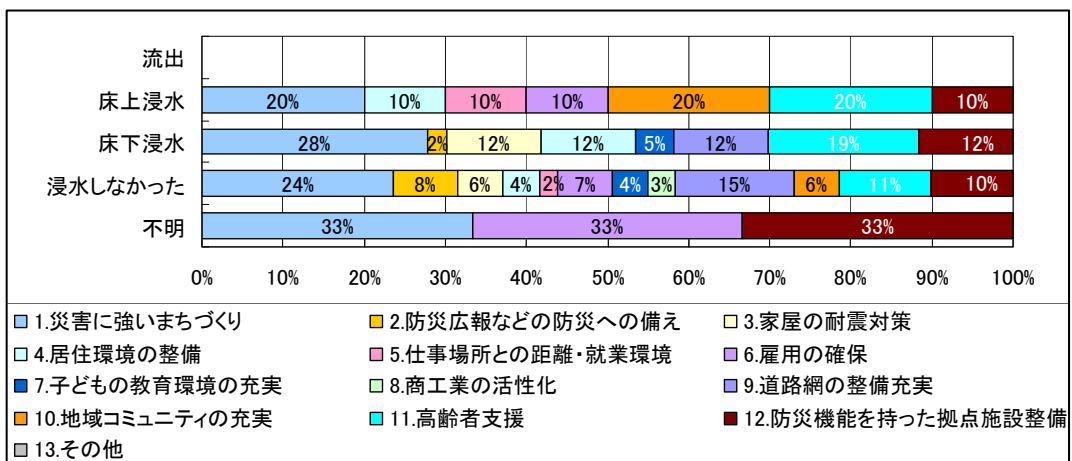
【浜田地区】



(回答数)

	1.災害に強いまちづくり	2.防災広報などの防災への備え	3.家屋の耐震対策	4.居住環境の整備	5.仕事場所との距離・就業環境	6.雇用の確保	7.子どもの教育環境の充実	8.商工業の活性化	9.道路網の整備充実	10.地域コミュニティの充実	11.高齢者支援	12.防災機能を持った拠点施設整備	13.その他	計
流出	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	9
床上浸水	11	5	4	6	0	2	1	3	3	3	9	6	0	53
床下浸水	6	4	2	3	0	0	1	2	0	2	5	6	0	31
浸水しなかった	20	15	11	7	2	1	2	4	4	6	24	18	1	115
不明	4	3	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	12
計	44	28	18	18	2	4	4	9	7	12	42	31	1	220

【須賀地区】

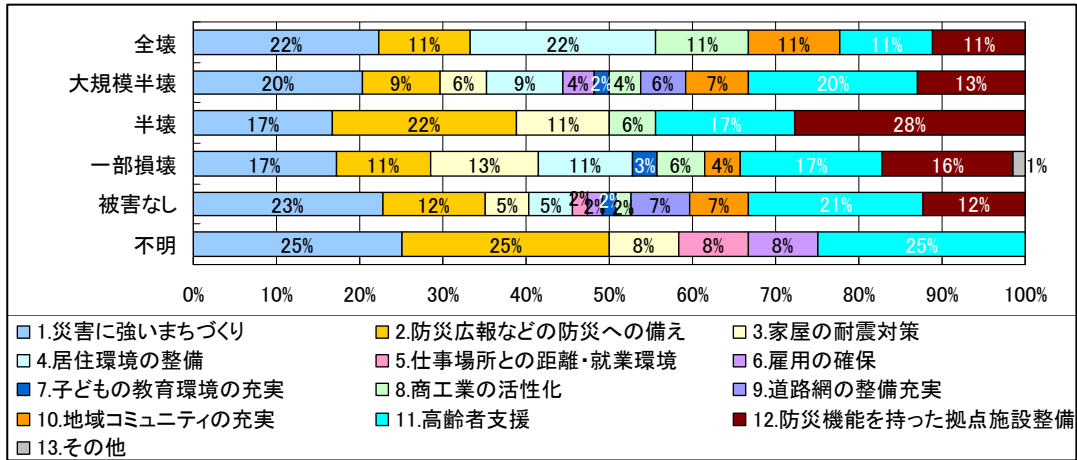


(回答数)

	1.災害に強いまちづくり	2.防災広報などの防災への備え	3.家屋の耐震対策	4.居住環境の整備	5.仕事場所との距離・就業環境	6.雇用の確保	7.子どもの教育環境の充実	8.商工業の活性化	9.道路網の整備充実	10.地域コミュニティの充実	11.高齢者支援	12.防災機能を持った拠点施設整備	13.その他	計
流出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
床上浸水	2	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	1	0	10
床下浸水	12	1	5	5	0	0	2	0	5	0	8	5	0	43
浸水しなかった	21	7	5	4	2	6	4	3	13	5	10	9	0	89
不明	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
計	36	8	10	10	3	8	6	3	18	7	20	16	0	145

《住居の被害状況別集計（住居の被害状況と今後の利府町全体のまちづくりの関係）》

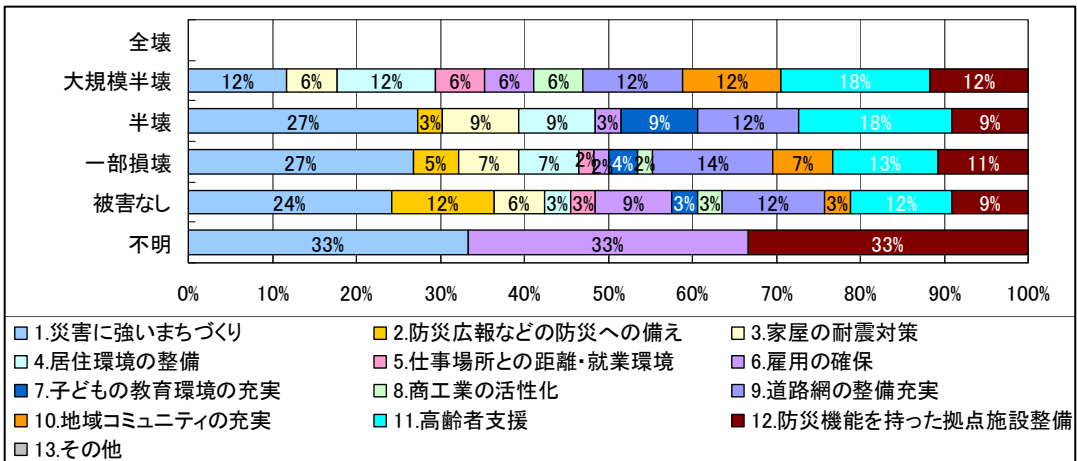
【浜田地区】



(回答数)

	1.災害に強いまちづくり	2.防災広報などの防災への備え	3.家屋の耐震対策	4.居住環境の整備	5.仕事場所との距離・就業環境	6.雇用の確保	7.子どもの教育環境の充実	8.商工業の活性化	9.道路網の整備充実	10.地域コミュニティの充実	11.高齢者支援	12.防災機能を持った拠点施設整備	13.その他	計
全壊	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	9
大規模半壊	11	5	3	5	0	2	1	2	3	4	11	7	0	54
半壊	3	4	2	0	0	0	0	1	0	0	3	5	0	18
一部損壊	12	8	9	8	0	0	2	4	0	3	12	11	1	70
被害なし	13	7	3	3	1	1	1	1	4	4	12	7	0	57
不明	3	3	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	12
計	44	28	18	18	2	4	4	9	7	12	42	31	1	220

【須賀地区】



(回答数)

	1.災害に強いまちづくり	2.防災広報などの防災への備え	3.家屋の耐震対策	4.居住環境の整備	5.仕事場所との距離・就業環境	6.雇用の確保	7.子どもの教育環境の充実	8.商工業の活性化	9.道路網の整備充実	10.地域コミュニティの充実	11.高齢者支援	12.防災機能を持った拠点施設整備	13.その他	計
全壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模半壊	2	0	1	2	1	1	0	1	2	2	3	2	0	17
半壊	9	1	3	3	0	1	3	0	4	0	6	3	0	33
一部損壊	15	3	4	4	1	1	2	1	8	4	7	6	0	56
被害なし	8	4	2	1	1	3	1	1	4	1	4	3	0	33
不明	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	6
計	36	8	10	10	3	8	6	3	18	7	20	16	0	145

今後の利府町の復興についての意見（抜粋）

<自由意見の内容と意見数>

意見の内容	浜田地区	須賀地区
(1) 防災施設・避難路・避難場所について	2	4
(2) 防潮施設（防潮堤、堤防道路など）について	5	8
(3) 地盤のかさ上げについて	5	6
(4) 高台への移転について	3	—
(5) 湾内、河川、道路について	3	2
(6) 自主防災組織について	1	—
(7) 観光及び水産業の振興について	2	1
(8) 土地利用について	5	—
(9) 高齢者支援について	1	1
(10) 行政運営について	11	5
(11) その他	4	2
計	42	29

(1) 防災施設・避難路・避難場所について

【浜田地区】 ○高台に、災害時の浜田住民のための防災施設が欲しい。そうすることによって行政との連絡がとりやすくなると思う。

【須賀地区】 ○中倉 54 北側高台避難所の整備をお願いします。落石及び雨など降ると悪路となるので碎石等を入れてもらい平らにし、できれば集会所もその場所にしてもらいたい。

○沿岸の集落の災害復興には、鉄筋コンクリート建物をつくる提案をします。須賀でも集会所を鉄筋コンクリート二階建てにし、屋上に手すりをつくり、避難所にする。

(2) 防潮施設（防潮堤、堤防道路など）について

【浜田地区】 ○同じような被害を繰り返さないための対策として、防潮堤整備（護岸工事）を早急に進める。

○道路整備も大事ですが、浜田漁港の整備も重要な復興だと思います。震災後、冠水がひどくなりました。早急に漁港の整備などお願いしたい。

【須賀地区】 ○高潮注意の時は、須賀の道路一面に潮が上がり、近頃は自宅の近くに車も置けないくらいになり、満潮時に車が走ると家の庭にまで入ってきます。少しでも早く高潮対策をしてください。

○今回の津波で東北本線の線路が防波堤代わりになり津波の被害が少なく済んだが、あと 30cm 津波が高かったら線路を超えて町内に来て

しまうので、国道 45 号をかさ上げして防波堤の代わりにしてもらいたい。現在国道 45 号は満潮時車が通ることができないくらい浸水しているの、上記も踏まえてかさ上げをしてもらいたい。

(3) 地盤のかさ上げについて

- 【浜田地区】** ○海岸のかさ上げと防波堤をつくって欲しい。
○漁港の地盤沈下は重要な問題である。早急な復旧を優先にお願いします。
- 【須賀地区】** ○漁港のかさ上げしてください。
○一日も早く道路(冠水しているため)の地盤をかさ上げして頂きたい。敷地内で浸水している地盤のかさ上げも要望したい。

(4) 高台への移転について

- 【浜田地区】** ○今後、国か町に土地を買い上げてもらい代替え地を希望します。
○被害の大きかった地域の政府による土地の買い上げと、住民の高台または安全地帯への移住。その他の選択肢もあるでしょうが方向性を出して先送りせずいつまでにやるか時間軸を示して欲しい。

(5) 湾内、河川、道路について

- 【浜田地区】** ○震災後、海岸の地盤沈下による満潮時の北の川の逆流、浜田・赤沼線道整備による排水、ゲリラ豪雨等で急激な増水等の条件が重なった場合、北の川周辺の家屋の浸水が心配されます。震災に加え豪雨被害も夢ではない最近の気象状況からして、早急な対策をお願いします。北の川の底さらい、北の川の河口流出口の整備、北の川両岸のかさ上げ。
- 【須賀地区】** ○航路に大きな石、泥がたまって浅くなっている所が多く、潮が浅い時は、航行ができないことがあります。対策をお願いいたします。
○現在、防災施設はなく避難路に抜ける海沿いの道が一つしかない状況です。この度の震災で地盤沈下もかなりひどく、満潮時の水の高さで車道としての機能が遮断される。何かと生活上支障をきたすこと多くまして、災害時の避難が困難であることは、地域そのものが孤立化してしまう。安心安全を提示する上でも早急な打開策を強く望みます。

(6) 自主防災組織について

- 【浜田地区】** ○地区の町内会会員のまとまりと、リーダーシップをとってくれる人材の育成だと思います。

(7) 観光及び水産業の振興について

- 【浜田地区】 ○漁業の後継者がいないので、今後の心配です。
○今後、町の発展は漁港を利用した観光だと思います。
- 【須賀地区】 ○利府町内だけにとらわれず、近隣市町村ともタイアップし復興、地域活性を目指せばいいと思う。

(8) 土地利用について

- 【浜田地区】 ○市街化調整区域見直しで浜田駅の利用拡大ができるように復興計画を（浜田駅前線道路完成）。
- 特別名勝地区と市街化調整区域の二重の規制で、住宅の新築はもとより改築も思うようにならず、発展が阻止されている様子も有るようですが、赤沼地区の採石場跡地に公営住宅を設置し新道路の有効な利用により、東部地区発展の起爆剤になると思います。

(9) 高齢者支援について

- 【浜田地区】 ○民生委員の来る頻度を多くして欲しいです。買い物に行くにも車両が無い家もあるので、移動販売車等もあつたら便利ではないかと思っています。
- 【須賀地区】 ○介護を要する年寄り世帯は、災害時は優先的に入所出来るようにして頂きたい。その時の助成金もお願いしたい。

(10) 行政運営について

- 【浜田地区】 ○震災地区住民に対しての行政からの伝達の欠如。そのことによって心の不安があつた。町職員や議員が顔を合わせての住民とのコミュニケーションが足りなかつた。
- この震災で、町当局の災害に対する組織の不備、避難場所への指示等の連絡網が機能していない。特に浜田地区に対して。復興に関しては、東部地区の活性化につきます。
- 限りある予算の中で復興を進めるには、適材適所、適性な方の人事配置で地域のニーズに答え、スピード感あるまちづくりに取り組んで頂きたい。
- 被災者の目線に立って相談に乗って欲しい。NPOの支援がなかつたら生活が成り立たなかつたと思います。他の援助を頼りにせず、役所として町民を守るといった気概をもって欲しい。震災から5ヶ月、被災者にとってまだ普段の生活に戻れないでいる。これからも色々な面で支援して欲しい。
- 【須賀地区】 ○須賀浜田地区は役場が遠いので何かと大変ですので、どこよりも早く飛んで来て頂きたい。

○津波の前から須賀地区は浸水地区だった。役場では調査していないのか。

(11) その他

【浜田地区】

○浜田には食料品店がなく不便、食料品店をつくって欲しい。

○ボランティアの皆様へ感謝します。

【須賀地区】

○放射能調査、検査は各地で行って欲しい。当地区としては児童公園と思っています。なお、検査データなどは速やかに提示をお願いします。

